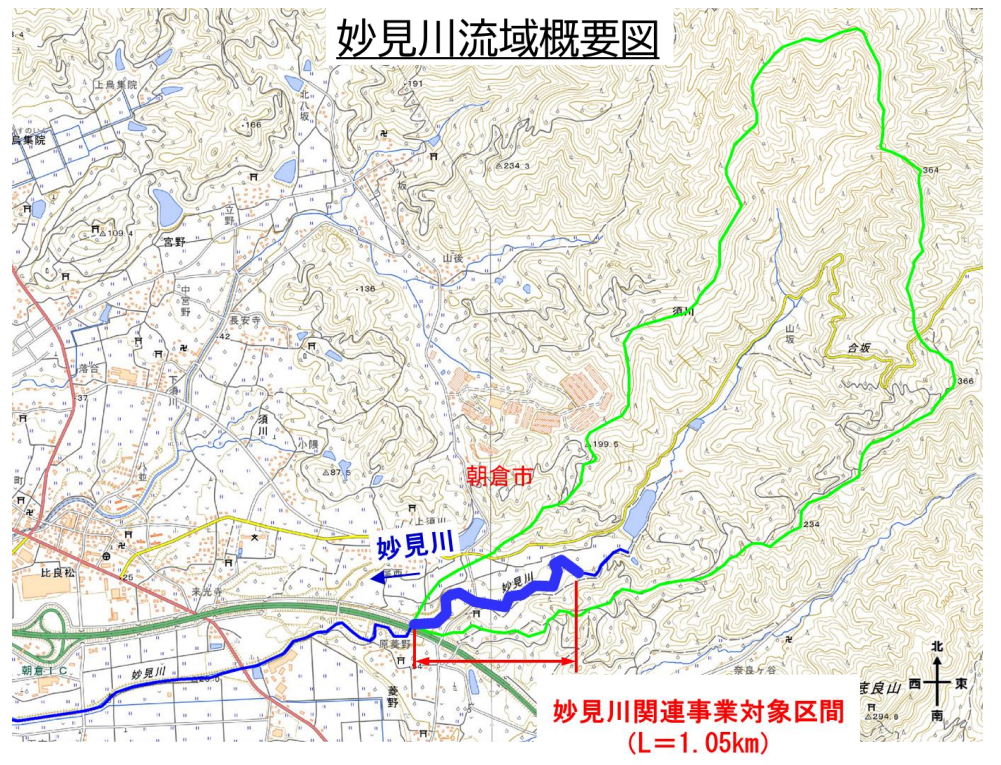


事業箇所位置図



妙見川位置図

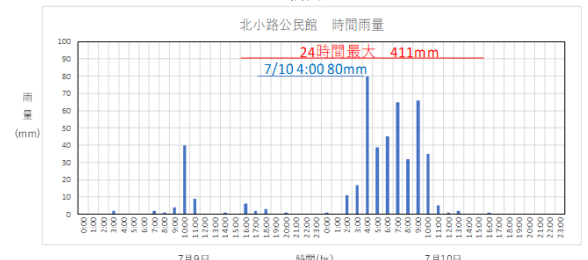
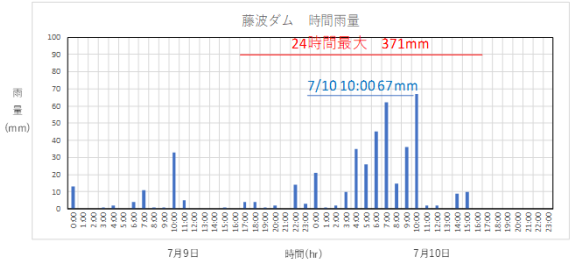
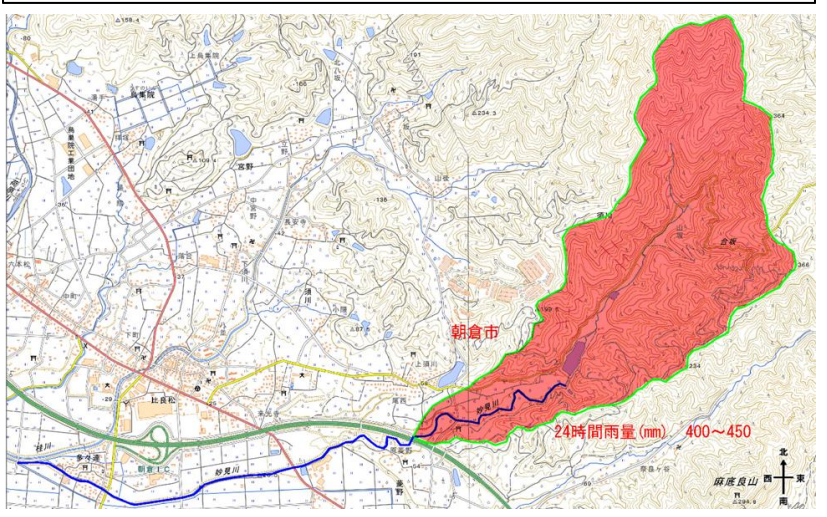


妙見川流域概要図

妙見川関連事業対象区間 (L=1.05km)

雨の状況

- 妙見川に近接する雨量観測所は『北小路公民館』であり、1時間雨量で80mm、24時間雨量約411mmと非常に激しい降雨となった。
- この降雨は7時間程度に集中しており、その降雨量は419mm程度であり、他の地域に比べて最も強い降雨強度であった。
- この異常な自然現象による当該河川の被災は、**現地において河床低下による護岸崩壊の被害や、最大で河岸高の8割程度以上の洪水痕跡を確認するなど激甚な豪雨災害であった。**



事業概要工程表

【妙見川】

作業項目	詳細	R5年度					R6年度					R7年度					R8年度							
		4	6	8	10	12	1	3	4	6	8	10	12	1	3	4	6	8	10	12	1	3		
改良復旧事業検討	概略設計																							
河道(護岸)設計	詳細設計																							
河床低下対策工設計	詳細設計																							
河川災害関連工事																								

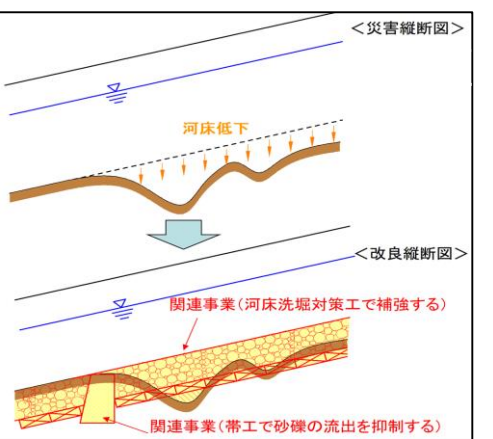
被災状況



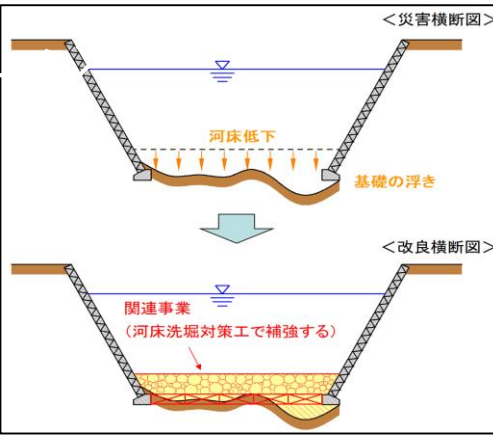
整備イメージ

《効果》

- ・帯工、護岸工を設置し、河床の低下を防止し、河床の安定化を図る
- ・河床の粗度向上により、高速流の派生を抑制する



急流区間である当該被災区間は、高流速の影響で掃流力が大きくなり、河床低下および局所洗堀による護岸崩壊が生じている。河床洗堀対策工(根固めブロック+砂礫埋戻し)により補強するとともに、砂礫床による粗度の増大を図り、高速流の発生を抑制する。また、帯工による砂礫の流出を抑制し、再度災害を防止する。



事業の進捗状況

